

# 第2学年 生活科学習指導案

日 時 令和元年 6月26日

対 象 第2学年 東コース 33名

南コース 29名

北コース 33名

授業者

## 1 単元名 「町のすてき大はっ見」(全17時間)

## 2 単元の目標

町探検を通して、自分たちの町に対して親しみや愛着をもち、町の特徴やよさ、季節による自然の変化、そこに暮らしたり働いたりする人々の様子など気付いたことをまとめ、伝えることができる。

## 3 観点別評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
①町探検を通して、町には様々な自然や施設があり、様々な人々が働いていることに気付いている。 ②町探検を通して、地域の自然や公共施設、働いている人々の存在に気付き、それらは自分たちの生活と深くかかわっていることに気付いている。 ③町探検を通して、自分でまとめて発表できたことや、友達の発表のよさに気付いている。	①町探検を振り返り、発見したことや気付いたことを表現している。 ②自分の聞きたいことについて、町の人にインタビューすることができる。 ③探検で見付けたことや楽しかったことを表現している。	①自分たちの住む町に関心を向けている。 ②町で働いている人に関心をもち、町の人にインタビューしようとしている。 ③探検して見付けたことや楽しかったことなどを表し、発表しようとしている。

## 4 単元について

### (1) 新学習指導要領との関連

本単元は、新学習指導要領の次の内容を受けて設定した。

#### 内容(3)

地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。

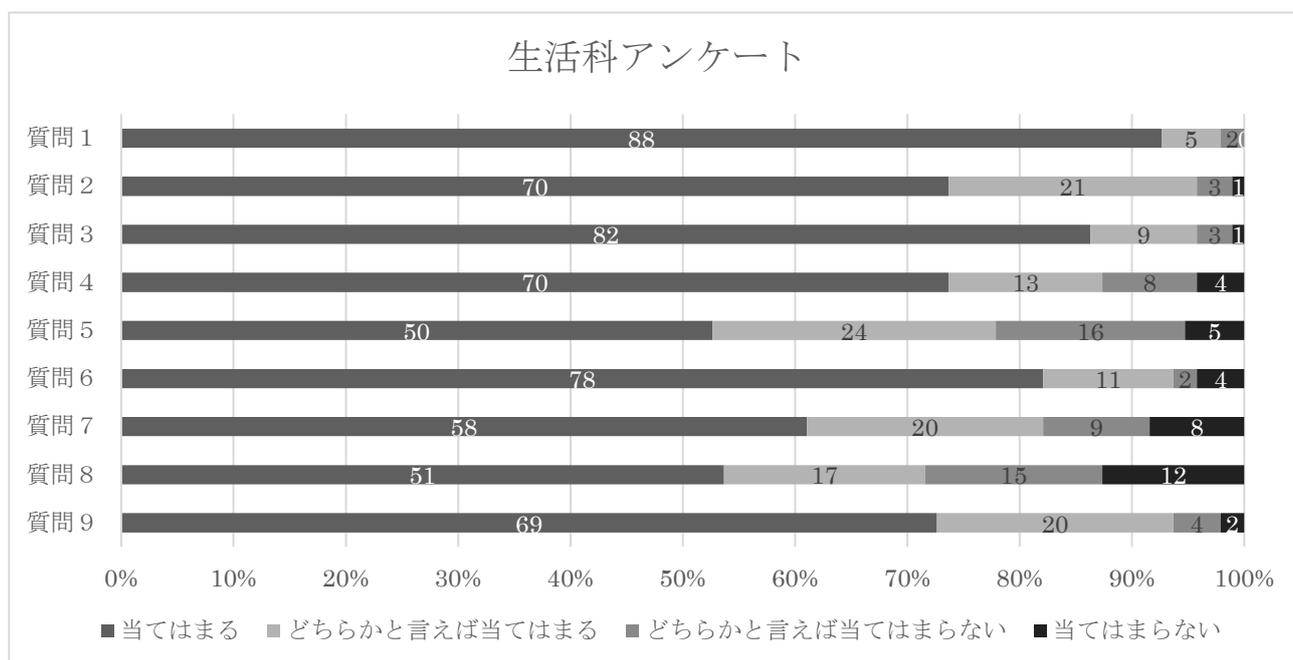
## (2) 教材について

本学年の児童は1年生のときに、新1年生に向けて「学校紹介」の学習をしている。これまで、学校や家庭が生活の中心であった児童も、2年生になると、友達や地域の自然、人々との関わりを通して、自分たちの町にまで生活の場を広げてきている。地域にある公園で遊んだり、買い物をしたりするなど、様々な人々や場所と関わって生活するようになってきている。

そこで、町探検という活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることで、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることに気付き、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりできるようにすることを目指して本単元を設定した。

## (3) 児童の実態

アンケート実施（対象 2年1組32名、2年2組31名、2年3組32名 実施日6月）



【質問1】生活科の学習は楽しい。

【質問2】見学に行つて新しいことをたくさん見つけることができる。

【質問3】植物や生き物を育てたり観察したりすることが好きだ。

【質問4】本などを使って調べる学習は好きだ。

【質問5】自分の考えをノートやプリントにまとめることは好きだ。

【質問6】友達と協力して学習することは好きだ。

【質問7】なぜ、どうしてと思ったことを自分で調べたりまとめたりすることが好きだ。

【質問8】自分の考えや調べたことを発表することは好きだ。

【質問9】友達の発表を見たり聞いたりすることは好きだ。

昨年と同じアンケートを取ったところ、「なぜ、どうしても思ったことを自分で調べたりまとめたりすることが好きだ」と答えた児童が4%ほど増えた。昨年は苦手だと感じる児童が多かったが、昨年の研究の成果が現れたものとする。一方、「自分の考えをノートやプリントにまとめることは好きだ」や、「自分の考えや調べたことを発表することは好きだ」という項目に関しては昨年に引き続き、20%前後の児童が苦手であると感じている。そこで、考えをまとめる手段としてICT機器を活用し、ノートやプリントだけでなく、多様なまとめ方があることに気付かせ、自分の考えをまとめる力を付けさせたい。また、発表もただ書いたことを読み上げるだけでなく、クイズ形式やインタビュー形式など、多様な発表の仕方があることを学ばせ、発表することは楽しいことに気付かせるとともに、発表する力を身に付けさせたい。

## 5 研究主題に迫るための手だて

【研究主題】

### 21世紀型の学力を育む学習方法の研究

～ICT機器の効果的な活用を通して～

<第2学年 目指す児童像>

自分の思いや願いの実現に向けて進んで学び、多様な方法で表現し伝え合える児童

#### (1) 教材・教具の工夫

町探検の範囲を学区周辺に限定し、児童が普段から関わりのある施設を中心に探検することで、興味をもてるようにした。また、学習した後も、継続してその場所や人と関わられるような施設を選んで探検することとした。児童の「もっと知りたい」、「もっと親しくなりたい」という思いを大切に、2回にわたって町探検をし、自分たちの町に親しみや愛着がもてるような工夫をした。

#### (2) 学習活動の工夫

町探検を2回に分けて行い、1回目は、自分たちの学校の周りには、どんな施設や自然、人がいるのかを見ることを中心に探検し、地域に興味をもてるようにした。1回目の町探検では、全員が同じコースを歩くのではなく、2つのコースに分けた。コースを分けることで、見てきたものを伝え合う活動の時、自分が行かなかったコースにある施設や自然、人に興味をもちながら話を聞くことができ、児童の主体的な学びが見られると考えたからである。

次に、1回目の町探検で興味をもったところを中心に2回目は、実際に施設の中に入って、そこで働く人々にインタビューする活動を通して、より詳しく町のことを知ったり、人と関わったりする活動を設定した。2回目の町探検より、学年で学習を進めることにした。理由としては、児童の知りたいという願いを大事にし、探検する施設の数を増やすと1クラスの中で、数多くの施設についてまとめることになり、教師の指導が行き届きにくいと考えた。だが、学年で学習を進め、同じ場所へ行ったグループをまとめることで、指導が行き届くようになる。また、互いにどんなまとめ方をしたか、情報交換することができ、より分かりやすくまとめる手立てとなると考えた。発表もポスターセッションのような形式にすることで、自分の興味ある場所を詳しく聞けるような工夫をした。

### (3) ICT機器活用の工夫

町探検で見付けたものを写真に残すことで、実際に見に行っていない児童にどんな場所かを伝える手段としてICT機器を活用する。ただし、個人情報の観点から、各施設で写真を撮る際の考慮が必要であると考えられた。それを今の2年生に求めることは難しいし、発表に必要な写真を選んで撮るといふことも、発達段階上難しいと考えた。そこで今回は、教師が必要であると思われる写真を撮ることとした。その中から児童は発表する際に必要と思われる写真を選び、ロイロノートにまとめることで、自分の考えを友達に分かりやすく伝えることができると考えた。ロイロノートは1年生の時に使用し、多くの児童が使いこなすことができているため、今回は写真に文字を入れたり、テキストのページを作成したりする方法や、資料箱の活用の仕方を新たに学ばせ、ICT機器の活用の幅を膨らませることとした。

## 6 小単元の指導計画（全17時間）

	時	○学習活動	◇支援・手だて【評価】
第一次	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">学校や家の周りにはどんな施設や遊ぶ場所があるか知ろう。</div> ○自分たちの学校や家の周りで今までに行ったことがある場所を紹介し合う。 ○自分の町の「おすすめ」や「すてきなところ」を見付け、友達に紹介する学習をすることを学ぶ。	◇普段遊んでいる公園や買い物に行く場所などを想起させる。 <b>【主①】</b>
	2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">町探検に出かける計画を立てよう。（1回目）</div> ○学区域を大きく2つに分けて、北コースと南コースに分かれ、自分が行きたいコースを決める。 ○探検の約束事を確認する。	◇地図を見せて、北と南とどんなルートを通るか事前に示し、行きたいコースを選べるようにする。 <b>【主①】</b>
	3 ・ 4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">町探検に出かけよう。（1回目）</div> ○北と南の2つのコースに分かれて、町探検に出かけ、どんな施設があるか、自然があるか、人がいるかを見付ける。	◇施設だけでなく、自然や人にも目を向けるように声を掛ける。 ◇道路の歩き方や公共の場所でのマナーを出かける前に確認する。 <b>【知①】【思①】</b>
	5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">町探検に行って分かったことや見付けたことを発表しよう。</div> ○町探検を振り返り、分かったことや見付けたことをまとめ、お互いのコースごとに発表し合う。 ○発表し合うことで、分かったことやもっと知りたいことを話し合う。	◇行ったところの写真を用意し、見付けたことを想起しやすくする。 ◇行ったところが分かりやすいように地図にまとめる。 <b>【知①】【思①】</b>

第二次	6	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">町探検の計画を立てよう。(2回目)</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1回目の町探検で興味や関心をもったことを振り返り、2回目の探検に行く場所を決める。</li> <li>○同じコースの中で、グループを作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇児童が興味をもった施設を中心に、9つの施設から一つの施設を選べるようにする。</li> <li>◇一つのグループの人数は3～4人とし、クラスをまたいでグループを決めて良いこととする。</li> </ul> <p><b>【主①】</b></p>
	7	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">インタビューすることを考えよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○調べたい内容を整理し、町の人にインタビューしに行く準備をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇1回目に探検した時に撮った写真や、日常生活における関わりなどから、聞いてみたいことや知りたいことをはっきりとさせる。</li> </ul> <p><b>【主②】</b></p>
	8	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">インタビューの練習をしよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○インタビューの仕方を確認し、インタビューの練習をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇インタビューする人などの役割分担を探検前に事前しておく。</li> <li>◇実際に施設の人とインタビューする人に分かれて練習をする。</li> </ul> <p><b>【主②】</b></p>
	9・10	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">町探検に出かけて、インタビューしよう。(2回目)</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○2回目の町探検に行き、町の人々にインタビューする活動を通して、町の人々の営みの様子に気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇インタビューや施設見学を通して、町の人と触れ合うことを大切にす。</li> <li>◇教師が写真を撮り、後で児童がまとめる際の資料とする。</li> </ul> <p><b>【主②】【思②】</b></p>
	11	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">分かったことをまとめよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○2回目の町探検で、知ったことや気付いたことなどメモしてきたことをまとめる。</li> <li>○グループ内で発表会で伝えたいことを話し合っ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇探検したところの写真を印刷して用意しておき、探検したところを想起しやすくする。</li> <li>◇発表会では、一人一つの内容を伝えることとする。</li> </ul> <p><b>【知②】【思③】</b></p>

第三次	12	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">発表準備の計画を立てよう。</p> <p>○どんな発表の仕方をするかグループで話し合っ て決める。</p> <p>○発表する時にどんなカードを見せたらよいか、内 容に合ったカードを考え、計画書を作成する。ど のカードを作るか、役割分担も決める。</p>	<p>◇クイズ形式やインタビュー形式 など、いろいろな発表方法がある ことを紹介する。</p> <p>◇簡単に、画面構成が描けるような ワークシートを用意し、それに写 真にするのか、文字のカードにす るのかを記入させる。</p> <p><b>【思③】</b></p>
	13 (本 時) ・ 14 ・ 15	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">町探検のことを伝えるための準備をしよう。</p> <p>○2回目の町探検で、知ったことや気付いたことな どを計画書に沿ってロイロノートにまとめる。</p> <p>○同じ場所を探検したグループ同士、出来上がった カードを見合い、良いところや改善した方が良い ところを伝え合う。</p> <p>○発表方法を工夫し、原稿を書いて発表練習をす る。</p>	<p>◇資料箱から必要な写真を選んで 使用するようになる。</p> <p>◇カードを作る時は、ICT 機器は、 1人1台使用する。</p> <p>◇話し方やまとめ方を工夫させる。</p> <p><b>【思③】</b></p>
	16	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">町のすてき発表会を開こう。</p> <p>○発表会を開き、発見したことや町のよいところを 紹介する。</p> <p>○友達の発表を聞き、町のよさに気付く。</p>	<p>◇発表会はポスターセッション形 式で行い、時間で3回に分けて行 い、自分が聞きに行きたいグルー プの発表を聞けるようになる。</p> <p><b>【知③】【主③】</b></p>
	17	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">町探検を振り返り、お礼の手紙を書こう。</p> <p>○今までの活動を振り返り、探検でお世話になっ た人へお礼の手紙を書く。</p>	<p>◇発表で使ったロイロノートなど を見せてこれまでの活動を振り 返れるようになる。</p> <p><b>【思②】</b></p>

## 7 本時の指導（13時間目／全17時間）

### （1）目標

- ・2回目の町探検を通して発見したことや思ったことなどを、工夫して表現することができる。

### （2）授業を見る視点

#### ① 教科の観点

- ・発表形態の工夫が見られるカードを作れているか。

② ICT活用の観点

- ・町探検で発見したことをまとめるのに、ICT 機器を使うことは有効であったか。

(3) 本時の展開

	○学習活動 T：教師の発問 C：予想される児童の反応	◇指導・支援 ☆ICT機器活用のポイント 評価【評価規準】(方法)
導入	<p>○前時までの学習を振り返る。</p> <p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">町探検で発見したことを伝える準備をしよう。</div>	
展開	<p>○計画書に沿ってロイロノートを使って、自分の担当するカードを作成する。</p> <p>T: 前回、発表の計画を立てました。今日はその計画に沿って、ロイロノートを使ってカードを作りましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">1人1台</div> <p>C: 最初のページは、建物の写真だったから、資料箱から取り出そう。</p> <p>C: クイズのページの文字は、黒の方が見やすいかな。</p> <p>○それぞれが作ったカードを、グループ内の1人のロイロノートにまとめ、発表の順を考え、つなげる。</p> <p>T: 途中までも良いので、作ったカードをグループの中の1人のロイロノートに送りましょう。それから、聞く人が分かりやすいような発表の順に、カードを並べ替えましょう。</p> <p>C: どんどころかをまずは知ってもらいたいから、そのことについて書いてあるカードを一番始めにするのがいいかな。</p> <p>C: いきなりクイズで始めたら、みんなが興味をもって聞いてくれそうだね。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">3～4人1台</div>	<p>◇カードは、一つの内容につき、2枚まで作って良いこととし、あまり、長くならないようにする。</p> <p>☆写真は資料箱の中に入れておき、必要な写真を取り出せるようにする。</p> <p>◇文字を入れてページを作る際には、分かりやすいように、短い言葉でまとめるように声を掛ける。</p> <p>◇探検で話を聞いた順や見学した順など、聞く人にとって、分かりやすい順番となるようにカードを並び替えるよう声を掛ける。</p>

まとめ	<p>○本時の振り返りをする。</p> <p>T:カードをつなげたら、提出箱に出しましょう。</p> <p>T:カードをいくつか見てみましょう。このグループはクイズから始まっていて面白そうですね。</p> <p>C:なるほど。自分たちのグループも真似してみたいな。</p> <p>○次時の確認をする。</p> <p>T:次回はカードを完成させ、発表原稿を書きましょう。</p>	<p>A 町探検を通して発見したことや思ったことなどを、写真等を使って工夫して表現している。【思考力・判断力・表現力等】(カード)</p> <p>B 町探検を通して発見したことや思ったことなどを、写真等を使って表現している。【思考力・判断力・表現力等】(カード)</p> <p>◇みんなが作ったカードをいくつか紹介し、次時への期待をもたせる。</p>
-----	--	---

(4) 板書計画

<p>町のすてき大はっ見</p> <p>はっ見したことをつたえるじゅんびをしよう。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>&lt;カードを作るポイント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見やすく</li> <li>→文字の大きさや色のくふう</li> <li>・わかりやすく</li> <li>→ないように合ったしゃしん</li> <li>みじかいことば</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>&lt;ならびかえのポイント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話を聞いたじゅん</li> <li>・見学したじゅん</li> <li>・つたえたいじゅん</li> <li>など</li> </ul> </td> </tr> </table>	<p>&lt;カードを作るポイント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見やすく</li> <li>→文字の大きさや色のくふう</li> <li>・わかりやすく</li> <li>→ないように合ったしゃしん</li> <li>みじかいことば</li> </ul>	<p>&lt;ならびかえのポイント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話を聞いたじゅん</li> <li>・見学したじゅん</li> <li>・つたえたいじゅん</li> <li>など</li> </ul>	<p>スライドを映し出す</p>
<p>&lt;カードを作るポイント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見やすく</li> <li>→文字の大きさや色のくふう</li> <li>・わかりやすく</li> <li>→ないように合ったしゃしん</li> <li>みじかいことば</li> </ul>	<p>&lt;ならびかえのポイント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話を聞いたじゅん</li> <li>・見学したじゅん</li> <li>・つたえたいじゅん</li> <li>など</li> </ul>		